

## 第4回 統合準備会

日時 令和2年10月28日 午後7時00分～  
 場所 森町文化会館 小ホール  
 内容 学校教育課長挨拶  
 グループでの検討  
 (1) 教育分野  
 (2) 通学分野  
 全体会議  
 連絡事項 次回統合準備会開催日 12月23日水曜日

司会:学校教育課長補佐 進行:森小学校教頭

### 発言要旨

発言者	内 容
学校教育課長補佐	開会。最初に学校教育課長から挨拶をする。
学校教育課長	<p>先日、教育委員会による学校訪問で森中学校を訪問した。学校から状況について説明があり、生徒や保護者へのアンケートにおいて学校生活が充実していると思われる結果であったと説明された。また、バス通学において当初乗り遅れたりしたこともあったが、学校生活の一部となった生活が送られている様子や、警報発令時に学校がバスの時間を意識して活動がなされ、バス通学が学校生活の一部として位置づけられていると報告された。</p> <p>教育委員からは、新型コロナウイルスの対応や統合など、例年にない状況の中、現在は統合したころを気にすることなく、落ち着いた学校生活を送っている様子を確認できて安心したという意見があった。</p> <p>本日の準備会の進め方は、全体で意見や質問、今回の資料について説明した後、4つのグループに分かれて検討を行い、その後全体会議で報告していただく。検討の時間は30分程度を予定。今回は分野ごとに分けて、4グループとも教育分野及び通学分野の内容について検討していただき、意見等をいただきたい。</p> <p>特に問題のない項目については承認していただき、課題があるものについては、全体会議で報告していただく。</p> <p>今後は、次回12月に予定しているが、今年度中に実施する事業については、補正予算の計上を準備している。</p>
学校教育課長補佐	<p>グループでの検討に進む。</p> <p>資料1ページから4ページに第2回及び第3回の準備会でいただいた意見や質問と回答を一覧にした。灰色の項目は回答済みのもので、色なしの項目が、第2回から引き続き検討するものと、第3回でいただいた意見に対する回答となっている。主なものを説明する。</p> <p>教育分野の①「警報発令時・解除時の対応」の8点目、8時30分前に警報が解除された場合、大河内線の8時56分のバスがデマンドであり1時間前の予約が間に合わないのではないかという意見があった。前回三倉小 渥美教頭から現在の運用について説明があったとおり、8時30分までに解除になった時点で学校から運行依頼の連絡をするという運用をしているので、森小でも同様に実施することを想定している。</p> <p>②「学校指定用品の取り扱い」の4点目、保護者の交流機会を設けてほしいという意見があり、学校では、2学期中に実施を計画している。</p> <p>計画の状況について、森小から説明をお願いします。</p>
森小学校教頭	<p>12月10日に3小の交流を計画している。午後は文化会館で3小合同で音楽鑑賞会を予定しているが、4時間目くらいから保護者参観を計画している。三倉小・天方小の保護者に希望を確認し、希望者には、森小の保護者やPTA役員に協力いただき、話ができる機会を設けることを検討している。</p>

発言者	内 容
学校教育課長補佐	<p>③「放課後の過ごし方」の10点目、低学年の子が安全に帰れるか不安、バス停までの見届けがあったら安心という意見があった。一点資料の訂正をお願いする。1学期は担任がバス停まで見届けるとあるが、1学期ではなく、4月の1か月に訂正をお願いする。この意見については、バスの待機場所に配置予定の支援員にバス停まで同行してもらうことを検討しているが、期間については状況を見ながら判断したいと考えている。</p> <p>通学分野の①「令和3年のバス運行」の3点目、夢街道線、大河内線が密になる心配があるという意見があった。夢街道線は車両を大型化、大河内線は登校時増車して運行する。</p> <p>4点目、森林組合前バス停から「秋葉線」「大河内線」のいずれにも乗れる中学生がいるが、どちらかに決めてもらった方が良いのではという意見があった。三倉地区の中学生は、森林組合前バス停から夢街道線直行便に乗車し、森中学校入口バス停で降車することを想定している。</p> <p>②「通学時の安全確保」の3点目、森林組合前バス停での乗り換えが心配という意見があった。秋葉バスに降車について配慮していただくよう依頼した。NPO法人やまゆり三倉の運転手に乗り換えの支援を依頼した。</p> <p>4点目、町営バスのバス停に雨よけがほしいという意見があった。また、13点目、乗降場所の検討をお願いしたいという意見があった。バス停の移設を提案する。</p> <p>6点目、PTAの街頭指導について意見があった。三倉・天方地区の保護者は、各地区での該当指導を行うこととする。</p> <p>7点目、バスを乗り過ごした場合等に対応するため、子供に携帯電話を持たせたいという意見があった。バス通学者に対して希望調査を行い、検討する。</p> <p>8点目、帰りのバス停までの所要時間を、もう少し余裕をもって計算してほしいという意見があった。令和3年度の日課では、昇降口を出てからバス停まで15分と考えている。</p> <p>11点目と12点目は、バスに乗る人数についての意見。資料16ページのシミュレーションのとおり定員内となると見込んでいる。</p> <p>③「特別な日課への対応」の2点目と3点目は日課についての意見。できる限り待ち時間が少なくなるように、帰宅時間が遅くならないような日課を検討し、6ページのとおり提案する。</p> <p>5点目、バスの利用人数が小中合わせると定員いっぱいになるのではという意見があった。シミュレーションのとおり定員内となる。また、令和3年度の日課では水曜日も小学生と中学生が同じバスにならない見込み。</p> <p>その他の4点目、森中学校入口バス停に時計がないという意見があった。森中学校入口バス停については赤松公民館へ、遠州森町バス停については秋葉バス待合所へ時計を設置した。</p> <p>5点目、バザーについての意見があった。12月に見学してもらう予定だった本年度のバザーは中止とする。</p> <p>状況について、森小から説明をお願いする。</p>
森小学校教頭	<p>12月に予定していたバザーについては、コロナ禍での実施について検討した。例年、子供のいる家庭だけでなく、地域の高齢の方の参加も大勢見られるため、心配な面も考えられることから、今年度については、中止することとした。</p>
学校教育課長補佐	<p>以上、前回までの意見・質問と回答について、主なものを説明した。</p> <p>5ページの(1)教育分野 令和2年度「新しい森小」へのロードマップについて、森小学校野口校長から説明をお願いする。</p>
森小学校校長	<p>このロードマップは、4月にも提示して一部修正しながら進めているもの。</p> <p>備品については、夏休み等を利用して、確認作業を行った。</p> <p>宿泊訓練については、3小合同で観音山において5年生を中心に実施した。2泊3日の活動の中で、子供たちの会話も弾むようになり、成果があった。</p> <p>9月に3小の校長・教頭・教務主任が集まり、学校教育目標を「たくましく しなやかに学び続ける子」に決定した。学校経営目標については、3小それぞれの良さと課題を集めて練っていきたい。</p> <p>12月の3小交流では、3小合同で大ホールで芸術鑑賞会を計画している。</p> <p>それぞれの学校の学校だよりを交換したり、クラス写真を掲示したりして、相互に理解する活動を行っている。</p>
学校教育課長補佐	<p>6ページの令和3年度の日課表(案)について、森小学校 久保先生から説明をお願いする。</p>

発言者	内 容
森小学校久保教諭	<p>令和2年度の始業時刻は8時15分となっているが、令和3年度は8時に変更したいと考えている。変更のメリットとしては、バスの待ち時間が短くなること、6時間目下校時に15時台のバスに乗れることがある。</p> <p>午前中に帰るB日課4時間という日課については、令和2年度は年間10回程度あったが、令和3年度は始業式、終業式など回数を少なくするように検討している。</p>
学校教育課長補佐	<p>(1) 教育分野「学校指定用品の取り扱い」については、資料7ページ・8ページの一覧のとおり、前回提示した案を一部見直し、支給する数量を記載した。</p> <p>数量が書かれたものについて、7ページの用品の支給フローのとおり町から支給する。</p> <p>①案内・注文書を10月下旬に通知し、3月上旬から中旬までに支給したいと考えている。対象外・共通と書かれた用品については、現在使用しているものを継続して使用していただく。8ページの生活科バッグについては、森小で学年によって使用しているものが違うため、森小の状況に合わせて買い替える必要がある学年について支給する。</p> <p>9ページの資料については、社会教育課から説明する。</p>
社会教育課長	<p>放課後の過ごし方について、説明する。</p> <p>バスの待機場所、放課後子供教室の利用調査は、おおよその利用人数を把握し、使用する教室の整備や支援員の人数、運営のルール等について検討するために行った。</p> <p>全員から回答をいただいた。</p> <p>放課後児童クラブの利用については、通年で利用が12人、長期休業中のみ利用が5人、利用しないが31人であった。</p> <p>バスの待機場所の利用については、表のとおり。黄色の部分は6時間日課のため、利用はないと想定している。</p> <p>バスの待機場所に関する意見について、説明。参観会、懇談会、その他学校行事がある場合は、終わるまで待機させてもらいたい。基本は帰宅と考えているが、家庭の事情で対応が必要な場合があると考えられるため、森小と対応方法について検討する。</p> <p>バスに乗らない場合でも利用したいという意見があるが、あくまでもバスの時間まで安全に待機するための場所であり、お迎えの場合の場所という想定はしていない。理由としては、保護者の方が迎えに来る場合の引き渡しの場所、時間など安全性の面の課題があると思われるため。これについては、どのようなケースが想定されるか、頻度や人数を確認したうえで対応を考えたい。</p> <p>水曜日に放課後子供教室に行かない大河内線を利用する児童は困るのでは、という意見については、デマンドバスについての意見と思われる。デマンドではあるが、運転手が森林組合前バス停で待機して利用者がいる場合は運行するよう検討している。</p> <p>慣れるまでは、バス停までどなたかに同行してもらいたいという意見があり、資料2ページにあるように、4月は担任による見届け、待機場所からバス停は慣れるまで支援員が同行する予定。</p> <p>特別日課で待ち時間が長くなるようなら利用したいという意見については、先ほどの日課の説明のとおり、待ち時間が長くないように日課が作成されている。</p> <p>バスに乗り遅れてしまった時に、学校に戻って待機場所にいるように指導してもらいたいという意見については、バスに乗り遅れないようにすることが大切ではあるが、乗り遅れて学校に戻ってきた場合は、個別に対応するように検討する。</p> <p>低学年の子が自分のバス停を乗り過ぎしてしまった場合が心配なので何か対策がほしいという意見については、乗り過ぎさない支援として秋葉バスを含め運転手に降車について配慮を依頼している。</p> <p>放課後子供教室の参加について、毎週参加が26人、体験活動のみ参加が5人、参加しないが8人、その他が9人となっている。</p> <p>子供教室からの帰宅方法については、保護者の迎えが27人、バスが9人、未定又は両方が3人。</p> <p>放課後子供教室の開催方法は、毎週水曜日、天方小学校で三倉・天方合同での実施とする。</p> <p>放課後の過ごし方について、天方でバスを降りるところに支援員がいるとありがたいと意見があった。安全に移動できるようになるまで、放課後子供教室のスタッフによる対応を検討している。</p> <p>防犯面は大丈夫か、電気や水道はスムーズに使うことができるのかという質問について。現在は先生がいるため安心感があると思うが、来年度は常駐の管理者がいない場所での開催となるため、毎週開始前に放課後子供教室のスタッフによる使用箇所の確認を考えている。参加者も31名となるため、3名体勢を考えている。</p> <p>状況が変わったときには速やかに解決の対応が必要という意見があった。現時点での検討では把握できない課題もあると思うので、その都度対応したいと考えている。</p> <p>参加・不参加の連絡を簡単にできるようにしてほしいという意見については、例えば1か月ごと予定を提出していただき、変更時にはその都度連絡をもらう方法を考えている。</p>

発言者	内 容
学校教育課長補佐	15ページの資料については、企画財政課から説明する。
企画財政課長	<p>町営バス遠州森町バス停の移設について説明する。</p> <p>これまでの準備会で「待合場所に雨よけがほしい」、「乗降場所の検討をしてほしい」という意見をいただいております。これに対応するために、バス停の移設を提案する。</p> <p>バス停の位置は、安全に乗降するスペースを確保するために、旧山本医院宅軒下へ移設する。屋根がしっかりしており、雨に濡れにくいのでこちらに移設。所有者は県外に在住で近所の管理人が管理している建物。</p> <p>登校時は、資料の図にある赤いラインが登校時の車の動線。吉川線及び大河内線の直行便で登校する児童は、旧山本医院宅の軒下で降車し、そのまま左側通行して登校する。吉川線のバスは進行方向へ進み、一方通行を北上して再度県道へ出て森町病院方面へ向かう。</p> <p>下校時は、吉川線で下校する児童は秋葉線のバス待合場所で待機する。吉川線バスはロータリーに入らず、秋葉バス待合所横の道路上に停車し、児童はそこから乗車する。</p> <p>バス停移設案については、令和3年度に本案で実施するなかで、新たな課題があれば、令和4年度以降につなげていきたい。課題によっては、年度途中に対応可能なものもあるが、場合によっては、検討や協議等調整に時間がかかるものもあると考えられる。町営バスの運行については、毎年、子供の入れ替わりを踏まえて検討するとなっているため、令和3年度の運行については、本案で承認いただきたい。</p> <p>令和3年度通学バスシミュレーションについては、乗車人員の把握に関する質問・意見に対する資料。</p> <p>上が登校、下が下校。小学生・中学生の乗車人数、6月の乗降調査時の一般乗車人数、合計人数を記載。</p> <p>大河内線については、14人乗り2台で運行。夢街道線は14人乗り1台。大河内線直行便は、森林組合前バス停から遠州森町バス停までの直行便で、小学生が乗車する。夢街道線直行便については、森林組合前バス停から森中学校入口バス停までの直行便で、中学生が乗車する。</p> <p>吉川線沿いの中学生は、雨の日も自転車通学をしている。今年度4月～9月の実績では、2人のみとなっており、今回のシミュレーションでは中学生の人数を含めず試算した。</p> <p>秋葉線については、中学生が13人となっており、今年度の実績として常時2人乗車し、雨天時には11人程度乗車している実績があり、中学生を含めて試算した。</p> <p>これらの結果、すべてにおいて定員には達していないことが分かる。</p> <p>下校についても、登校と違い4路線について試算した。</p> <p>定員までの人数に余裕がないように見えるが、小学校と中学校の下校時間が全学年で重なった場合の試算であり、実際には全学年で重なる日課は計画されない見込みであるため、現実的にはこのとおりとなることは考えにくい。仮にシミュレーションのとおりであっても定員には達していないことが分かる。</p> <p>秋葉線については、事前に連絡すれば、可能な範囲で車格の大きな車両を動かしてもらえると聞いている。</p>
学校教育課長補佐	<p>17ページは、遠州森町バス停から森小学校までの通学経路の状況の資料。グレーの吹き出しは前回までに説明した部分で、カラーのところは今回提示する部分。水色の吹き出しについては、先ほどの企画財政課からの説明のとおり、町営バスのバス停の移設を予定している。中央の赤い吹き出しにあるように、通学路の合同安全点検の結果、オレンジ色に塗られた部分(中央通り)に路側帯の設置を検討している。この路側帯は、十分な幅員があり、この区間に関しては、歩行者は右側と左側のどちらも通行可能となるため、途中で横断歩道を渡って右側を通行し、森小付近でもう一度横断歩道を渡るということはしなくて良くなる。</p> <p>18ページの特別な日課への対応については、6ページにあるとおり、森小学校の令和3年度の日課表(案)が示された。日課表の作成にあたり、バスの待ち時間が長くなるように、また、帰宅時間が遅くならないように調整された。</p> <p>また、バス停までの移動時間が10分では短いとの意見をいただいていることから、昇降口からバス停までの移動時間を15分として、下の表のとおり、それぞれの日課に対する待ち時間を試算した。待ち時間が長くなる日について、以下の対応を検討している。</p> <p>①通常日課4時間で下校する1年生が、4月及び毎週金曜日、待ち時間が長くなる。これについては、19ページの時刻表のとおり、4月の1か月と同様に毎週金曜日夢街道線車両を使った三倉・天方地区の1年生限定の便を検討する。</p> <p>②B日課4時間の日課については、バスの時間を考慮して4時間目の授業の中で帰りの会を行い、12時台のバスに乗れるように検討している。</p>

発言者	内 容
	【グループ討議】
森小学校長	<p>Aグループで話し合った内容について報告。</p> <p>教育分野について。 学校指定用品の取り扱いの問題ない。 放課後の過ごし方は、参観会や行事等のある場合は、終わるまで待機させてほしい。 または、低学年の児童が高学年の児童と一緒に帰ることができるように待機させてほしいという意見があった。これについては、すぐに結論は出ないが、事情を把握したうえでどんな対応ができるか今後検討したいと考えている。 バス停までの移動を各学年ごとばらばらに帰るのかという質問があった。現在、低学年は一度昇降口に集まって下校している。高学年も含め、新年度にどのように下校するか検討する必要があると思う。 来年度のクラス編成において、三倉天方の児童がクラスに1人きりになってしまわないように配慮してほしいという意見があった。人間関係等十分に配慮して編成したい。 通学分野について。 シミュレーションが示されたが、秋葉バスの定員が多く書かれているが、立ち席を含めての人数だと思われ、全員が重なった場合はどのようなルールを作ったら良いかという意見があった。12月10日に3小交流があり、バスを利用するので、その様子を情報共有していきたい。 通学時の安全確保として、運転手さんの配慮をお願いしたい。 特別な日課への対応については、森小の日課表案のとおりで問題ないと思われる、という意見があった。</p>
森小学校教頭	<p>Bグループで話し合った内容について報告。</p> <p>教育分野について。 学校指定用品については、提案のとおりで良い。 放課後の過ごし方について、バスの利用で乗り過ぎが心配。乗り過ぎさない指導はするが、1年生でプールの季節等に寝過ごすこともあるのではないかという意見があった。 森林組合前バス停での乗り換えについては、秋葉バスへ配慮を依頼したということだが、乗り過ぎがないような工夫があるといい。 バスの待機場所の利用の把握については、急な変更時の連絡調整の方法は学校でも検討する。 日課表案の水曜日の5時間目の後に、学年会・委員会・クラブと書いてある。委員会は5・6年生、クラブは4年生以上の子供に関係するもの。回数は多くはないが、該当学年だけ下校時間が6時間となり、放課後子供教室の利用時間が短くなるため、再度学校へ持ち帰って検討する。 通学分野について。 通学時の安全確保について、提案の内容は概ね問題ないが、今年度、警報は出ないが、大雨が降ったり雷がなったりしたときに下校を遅らせたことがあった。来年度バスの時間を考慮したときに同じことができなくなる。突発的な事態について学校で検討する。 特に三倉について、乗車時間が長くなり、途中でトイレに行きたくなったときに心配。森林組合のトイレを気楽に借りられるように事前に依頼してほしいという意見があった。</p>
天方小学校教頭	<p>Cグループで話し合った内容について報告。</p> <p>教育分野について。 学校指定用品については、概ねこれで良い。 放課後の過ごし方について、参観会・懇談会その他学校行事がある場合は、終わるまで待機させてほしいという意見があった。また、高学年の下校時刻まではバスに乗らない場合でも利用させてほしいという意見があった。 放課後子供教室のスタッフ3人は確保できているか心配。 17時のバスのデマンドの予約について、利用者が複数いる場合も各家庭で予約するののかという意見があった。 通学分野について。 吉川線バスの乗車人数が実績で試算しているが、19人を超えることも考えられるので、試算より多く中学生が乗った場合の対応について考えておいてほしいとの意見があった。 毎年子供たちの人数によって運行を変えて柔軟に対応してほしい。 バス通学の児童だけでなく登校時刻が変わるのか検討し、森地区の児童に伝える必要があるのではないかという意見があった。</p>

発言者	内 容
三倉小学校教頭	<p>Dグループで話し合った内容について報告。</p> <p>教育分野について。</p> <p>放課後子供教室のスタッフ3人について、現在の三倉小・天方小の子供教室のスタッフが継続してくれると、子供たちも安心できる。</p> <p>低学年で待機場所を利用しないで下校する児童についても、バス停まで同行していただけるのかという意見があったが、これについては、慣れれば自分たちで帰れるだろうという話になった。</p> <p>バスに支援員が乗ってほしいという意見も出ていたが、支援員が乗った場合は、大変となってしまう。慣れるまでは表示等の工夫は必要かもしれないが、慣れていけば、秋葉バスの運転手も親切で声かけ等してくれるから大丈夫ではないかという意見があった。</p> <p>通学分野について。</p> <p>バス停の移設、路側帯の設置等これまでの心配した意見に対して、改善されるので、これで大丈夫ではないかという意見があった。</p> <p>高学年が低学年を配慮するようなバス乗車のルールを教える場を設けたら良い。</p> <p>バス乗車シミュレーションについて、三倉については改善されている。吉川線・秋葉線について数字上は大丈夫そうだが、実際には荷物も多かったり、立っていても安全に行けるようにしていきたい。吉川線の19席には車いすの席や補助席が含まれているとしたら厳しいのではないかという意見があった。</p>
森小学校教頭	<p>学校指定用品の取り扱いについては、意見がなかった。承認してよろしいか。</p>
天方小学校PTA	<p>社会科見学の持ち物に横断バッグと書かれていたということを聞いたが、指定があるなら支給対象としてほしい。</p>
森小学校教頭	<p>通知に横断バッグと書かれた学年もある。使用状況を調べると、低学年は持っているが全員ではなく、高学年になるにつれて持っても使わなくなる傾向があるため、支給対象から外してある。</p> <p>通知を出す場合は、横断バッグ等のように、必ずしも横断バッグでなくても良いような書き方で通知するようにしている。</p> <p>学校指定用品の取り扱いについては、よろしいか。</p>
	<p>他に意見なし。</p>
森小学校教頭	<p>放課後の過ごし方について、支援員とデマンドについて質問があった。</p>
社会教育課長	<p>放課後子供教室の3人のスタッフについては、現在やっていた方に依頼している段階。</p> <p>参観会・懇談会のときについては、森小学校の先生と相談して検討していきたい。</p> <p>デマンドについては、予約を代表でよいか、それぞれするのか検討する。</p>
森小学校教頭	<p>通学分野、バスの乗車シミュレーションについて、安全確保、森林組合のトイレ、乗り過ぎさないための依頼を含め、更に検討するというので、よろしいか。</p>
企画財政課長	<p>秋葉バスの定員が多く、立ち席も含まれているという意見があったが、指摘のとおり定員の中には、座席数だけでなく立ち席も含まれており、これは、車検証の定員。</p> <p>同じ児童がずっと立つのは辛いという意見があったが、登校時秋葉線で一番遠い要橋から遠州森町バス停までの乗車時間は13分、秋葉線については、天方地区の児童が利用するため、最初に乗る児童は座れないということはないと思われる。後から乗る児童については、更に短い時間の乗車となるので、ご理解いただきたい。</p> <p>乗り過ぎしが心配だという意見については、秋葉線及び町営バスの運転手に声かけを依頼している。近隣市町でもそのような実態がある。声かけの方法については、今後も検討したい。</p> <p>トイレが心配だという意見については、森林組合のトイレは使用可能。沿線上のトイレ設置箇所については、多くはない。秋葉線だと市川商店のところにはある。</p> <p>吉川線のシミュレーションでは、中学生を除いて試算しているが、定員を超えた場合の対応を考えてほしいという意見があった。法的には12歳未満の児童の場合は、大人2人の席に子供3人が乗車可能となることから、乗車は可能としている。ただし、常に満員であったり、大人2人の席に子供が3人乗らなければならない状況が常態化するような場合は、対応を考えたい。</p> <p>吉川線の定員19人に車いすの分が含まれていないかという意見については、車いすの2席が含まれている。</p>

発言者	内 容
森小学校教頭	<p>すでに秋葉バスの運転手に依頼をしているということで安心した。</p> <p>9月の交流時に三倉小の児童がバスで帰っており、事後の感想で、難しくなかったという感想を見させてもらった。12月の交流でもバスで森小へ来るということも予定されている。子供たちが慣れるということが大事であり、安全な登下校について、両面から対応を進められたら良いと思う。</p> <p>日課については、今年度遅くしたが、来年度は地区によって到着時刻も違うため、現状を見ながら学校で検討したい。</p> <p>その他にはないか。</p> <p>PTA分野については、森小で案を作り、各校で検討してきた。現在は、地区委員の選出方法について検討している。会則についても作成している。資源回収については、今年度から森小の回収方法を変更してコンテナを設置した。三倉・天方についても試行している。各部の計画についても原案を作っているところ。</p>
天方小学校長	<p>事務分野について、三倉小・天方小の備品の移動の計画ができた。業者に依頼するものについて、学校教育課と調整している。</p>
三倉小学校PTA	<p>学校行事について、土曜日に予定されているものはあるか。</p>
森小学校教頭	<p>運動会とバザーがある。</p>
三倉小学校PTA	<p>運動会について、三倉は土日にはバスが通っていない。子供の登校時間と保護者が学校へ行く時間に開きがあると、三倉と森を往復すると1時間以上かかる場合もあり、時間を調整したり、バスを出してもらえると助かる。</p>
森小学校教頭	<p>学区が広域になる中での行事であることから、行事のあり方等学校で検討したい。</p>
学校教育課長補佐	<p>資料17ページの安全確保、18ページの待ち時間について、問題なければ承認いただきたい。</p>
森小学校教頭	<p>資料17ページの安全確保について、承認いただけるか。</p>
	<p>意見なし。</p>
森小学校教頭	<p>資料18ページの特別日課への対応について、承認いただけるか。意見があるか。</p>
	<p>意見なし。</p>
学校教育課課長補佐	<p>次回の統合準備会について 12月23日水曜日文化会館小ホールで開催する。出席をお願いする。 以上をもって閉会とする。(午後9時15分)</p>